

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年03月30日

計画の名称	名張市社会資本総合整備計画（名張市地域住宅計画）													
計画の期間	平成28年度　～　令和02年度（5年間）											重点配分対象の該当		
交付対象	名張市													
計画の目標	・市営住宅において、既存ストックの有効活用と住環境を向上するため、名張市公営住宅等長寿命化計画に基づいた適正な改善を実施する。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		82	A	79	B	0	C	3	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	3.65	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H28当初)	(H30末)	(R2末)
1	当計画期間内における名張市公営住宅等長寿命化計画の達成率を47%（H28）から73%（R2）に増加する。			
	当計画期間内における名張市公営住宅等長寿命化計画の達成率の増加 （達成率）＝（改善済み戸数）÷（名張市公営住宅等長寿命化計画に定める事業予定戸数）	47%	57%	73%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
地域住宅計画に基づく事業	A15-001	住宅	一般	名張市	直接	名張市	－	－	公営住宅等ストック総合 改善事業（A1-1）	外壁改修・屋上防水 一ノ井 団地（2戸程度）	名張市	■					5	－	策定済
	A15-002	住宅	一般	名張市	直接	名張市	－	－	公営住宅等ストック総合 改善事業（A1-1）	外壁改修・屋上防水 一ノ井 団地（34戸）	名張市			■	■		30	－	策定済
	A15-003	住宅	一般	名張市	直接	名張市	－	－	公営住宅等ストック総合 改善事業（A1-1）	便所高齢者対応・集落排水接 続 比奈知団地（18戸）	名張市				■	■	10	－	策定済
	A15-004	住宅	一般	名張市	直接	名張市	－	－	公営住宅等ストック総合 改善事業（A1-1）	便所高齢者対応・公共下水道 接続 夏見団地（11戸、集会 所）	名張市					■	3	－	策定済
	A15-005	住宅	一般	名張市	直接	名張市	－	－	住宅地区改良事業等（改 良住宅ストック総合改善 事業）（A1-2）	外壁改修・屋上防水 一ノ井 改良（8戸程度）	名張市	■	■	■			27	－	策定済
	A15-006	住宅	一般	名張市	直接	名張市	－	－	公的賃貸住宅家賃低廉化 事業（A1-3）	H18建替夏見団地（30戸分）	名張市	■					4	－	－

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
											小計						79			
											合計						79			

C 効果促進事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
地域住宅計画に基づく事業	C15-001	住宅	一般	名張市	直接	名張市	－	－	公営住宅等ストック総合 改善事業（C-1）	集落排水接続に伴う浄化槽廃 止（12戸）	名張市					■	3	－	－	
		既存浄化槽を廃止し、集落排水へ接続するのと同時に、老朽化した既存浄化槽を撤去することにより、悪臭・騒音問題を改善し、適切な住宅管理に寄与することができる。																		
												小計						3		
											合計						3			

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
名張市にて実施	計画期間内の全事業終了後（令和３年３月）
	公表の方法
	名張市のホームページにて公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・長寿命化に資する改善工事を行うことにより、ライフサイクルコストを軽減することができた。 ・住戸内部の福祉対応により高齢者等居住の安全及び住環境を向上することができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
・市営、改良住宅について計画的に長寿命化を図り、良好な住宅ストックの形成を推進します。 ・今後用途廃止となっていく住宅の整備を検討します。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	達成率＝改善済み戸数÷名張市公営住宅等長寿命化計画に定める事業予定戸数		
	最 終 目標値	73%	
	最 終 実績値	73%	

(参考様式3) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	1 名張市社会資本総合整備計画 (名張市地域住宅計画)	交付対象	名張市
計画の期間	平成28年度 ~ 令和2年度 (5年間)		

